

先進的な米経営の概要 (事例 ～)

事例 有限会社 グリーンパワーなのはな
事例 JA大分のぞみ たまごのおこめ部会
事例 農事組合法人 やまだアグリサービス

農林水産省

平成20年2月

先進的な米経営の概要（事例）

1. 経営の概況

会社・個人名	有限会社 グリーンパワーなのはな
所在地	富山県富山市豊田本町3丁目18番21号
経営面積 作付面積	計 192 ha 借入地 191 ha 作物内訳 (水稻 135 ha) (大豆 26 ha) (野菜 2 ha) (その他 29 ha)

2. 地域の概要

<p>富山市は富山県のほぼ中央から南東部分までを占め、北には豊富な魚介類を育む富山湾、東には雄大な立山連峰、西には丘陵・山村地帯が連なり、南は豊かな田園風景や森林が広がっている。</p> <p>市内には神通川や常願寺川など大小の河川が流れ、古くから川で結ばれた文化圏を形成している。海の幸に恵まれた富山湾から登山家たちを魅了してやまない3,000メートル級の山々までが織りなす自然の姿は、世界第一級の景観をなしている。</p>

3. 取組の概要

取組の類型	生産コストの低減 経営の多角化
セールポイント	<p>当社は、なのはな農協組合員からの「農地を安心して預けられる組織の設立」要望を基に農協の子会社として設立され、その取組内容は農家の先導的な役割を果たしている。</p> <p>農地保全の観点から、農家からの委託申し出に無条件で受託しており、農地は点在しているため作業効率は良くないものの、農協子会社の特長を活かし、農協施設の利活用によるコスト低減を図っている。</p> <p>実需と結び付いた作物の生産や、農閑期の業務創出等により、安定した経営に努めている。</p>
取組の内容	<p>【直播，機械の共同利用等による生産コストの低減】</p> <p>農協施設と直結している有利性を活かし、農薬散布の削減（これに伴う米の虫害粒の発生増加があるものの、農協施設の大型色彩選別機を活用して虫害粒を除去することにより品質を維持。）によってコスト低減を図る。</p> <p>稲作において、苗の植付を疎植にすることで苗代の削減を図る。</p> <p>【他作物等との組み合わせや自家加工など多角化】</p> <p>実需と結び付いた作物の生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の学校給食向けに供給する作物（タマネギ、チンゲンサイ、サトイモ）の生産。 ・ 品質を重視する醤油メーカー（和歌山県）との契約による、減農薬栽培大豆の生産。 ・ 消費者の健康志向に対応した雑穀メーカーとの契約による、黒米の生産。 ・ 首都圏・中京圏を中心に店舗を展開する高級レストランチェーンとの契約による、もち米の生産。 <p>農閑期の業務創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の年間雇用のために、業務確保の手段として「便利屋」（庭木の剪定の請負等）業務を創出。 ・ 自社で生産したサツマイモを、従業員が冬期に「焼きいも」として直売所や出前店舗等で販売。
取組の効果	生産コストが約5%減少

先進的な米経営の概要（事例）

1．経営の概況

会社・個人名	J A大分のぞみたまごのおこめ部会
所在地	大分県臼杵市大字江無田266番地の1
経営面積 作付面積	計 72 ha 借入地 0 ha 作物内訳（ 水稲 72 ha）

2．地域の概要

<p>臼杵市は、大分県の東南部に位置し、豊予海峡方面へ楕円状に細長く伸びた地形となっている。</p> <p>東は豊後水道に面した臼杵湾に臨み、南西部は鎮南山・姫岳など比較的険しい山稜が津久見市、佐伯市と接している。河川は、野津川が南西部を東西に流れ、臼杵川・末広川・熊崎川が臼杵湾に注ぎ、これらの河川沿いには水田が、野津地域の北側には畑地が広がっている。</p> <p>気象は、瀬戸内海型と南海型が混在し、年間平均気温は15～17度、平均降水量は、1,500～1,800ミリメートルで、温暖多雨の自然環境に恵まれている。</p>
--

3．取組の概要

取組の類型	消費者、外食産業、食品メーカー等へ直接販売 生産コスト削減
セールポイント	「たまごのおこめ」は、有機質たい肥に卵の殻を混ぜたものを元肥として使用しており、化学肥料を抑え、環境にやさしい減農薬栽培方法で取り組んでいる。 「たまごのおこめ」は、一般の米と比べ香りが良い。
取組の内容	1995年から臼杵市内で試験栽培を数haで実施し、2001年に「たまごのおこめ部会」を設立し、部会組織で面積の拡大を図っている。 現在（2007年産）では、管内の水田面積の約20%（72ha）で栽培されており、一定の栽培基準も確立され、2010年までに作付面積、100ha（管内水稲作付面積の3割）が目標。 2000年には、「地産地消」の考えの下、臼杵市内の幼稚園、小・中学校の給食用に、「給食畑」の野菜と一緒に提供している。 米飯用として外食産業・食品メーカー等へ直接販売している。 主に、臼杵市・津久見市・旧佐賀関地域の料理店・一般消費者に販売し好評を得ている。 減農薬栽培によるコスト削減を図っている。
取組の効果	売上が一般米に比べ23,000円 / 10a増加 コストが一般米に比べ4,109円 / 10a減少

先進的な米経営の概要（事例）

1．経営の概況

会社・個人名	農事組合法人 やまだアグリサービス
所在地	秋田県湯沢市山田字中屋敷127番地
経営面積 作付面積	計 40.0 ha うち借入地 40.0 ha 作物内訳 (水稻 32.0 ha) (大豆 6.0 ha) (ねぎ 1.2 ha) (枝豆 0.8 ha)

2．地域の概要

<p>湯沢市は、山形県、宮城県に隣接する秋田県の最南東部に位置し、県都秋田市へは直線距離で約70km、宮城県仙台市へも同じく約95kmに位置している。隣接する両県とは、国道13号、108号及び398号で結ばれており、秋田県の南の玄関口となっている。また、面積は790.72平方キロメートルで、秋田県の面積の約6.8%を占めている。</p> <p>東方の奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれた横手盆地を貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川、役内川沿いに豊かな水田地帯を形成し、県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれ、気象は、内陸性で気温の差が大きく、四季折々の自然美を見ることが出来る。</p> <p>農業の特色 肥沃な土壌と良質で豊富な水資源を活かし、米を中心に野菜・果樹・畜産・施設園芸を導入した複合経営が定着し、中でも酒米の生産は、市の水稲面積の2割を占め、生産量では秋田県全体の80%となっている。奥羽山脈のすそ野に広がる扇状地では、古くからリンゴやさらんぼが栽培され、規模では本場お隣の山形県には及ばないものの品質が自慢である。</p>
--

3．取組の概要

取組の類型	直播，機械の共同利用等による生産コストの低減 他作物等との組み合わせや自家加工など多角化
セールポイント	直播栽培を大規模に導入し、稲作の省力・低コスト化を実現。 稲作の余剰労働力を複合部門に振り向け、組織全体の農業所得を向上。 地域の主婦や高齢者等を臨時雇用し、地域社会の雇用拡大にも貢献。
取組の内容	平成12年に任意組合として設立。大豆の受託作業からスタートし、稲作の受託作業も拡大。 平成15年に「(農)やまだアグリサービス」を設立すると同時に、利用権設定（平成15年は1.2㍏、同18年は39㍏）による規模拡大を進め、「水稻+大豆」を柱に効率的な生産体制を目指す。 無人ヘリ防除も請負い、現在100㍏で実施。（3百万円の収入。） 余剰労働力を「ネギ」や「枝豆」などの複合部門に投入。平成18年度は、ネギで1.260万円、枝豆で80万円の収入。 平成16年に「直売所」を設立し、組織全体の所得拡大を図っている。平成18年の直売所の売り上げは5百万円。 複合部門では、地域の主婦や高齢者等を臨時雇用し、地域の雇用拡大に貢献している。
取組の効果	農地の利用権設定や集積による大規模化を図り、直播栽培の導入等により稲作の省力化、低コスト化に務めた。 18年度は、複合で取り組んでいる野菜価格と大豆の高品質加算金の交付が収支に大きく貢献した。 売上が1000万円増（2割） コストが500万円減（2割）

